



## 【新幹線定期報告】

令和4年1月17日  
新幹線事業対策室

### 1. 概況 (西九州新幹線(長崎～武雄温泉)の進捗)

令和3年12月末時点での工事進捗および用地進捗状況は下記のとおりとなっている。

#### ○工事進捗状況(長崎～武雄温泉) (R3.12月末時点)

区分	進捗状況		
土木工事	工事延長 67.0km (長崎県 49.2km、佐賀県 17.8km) ・本線土木工事は、R2.9.23 をもって完成率が100%となった ・土木の付帯工事は、引続き実施中 ・長崎県内の主要な土木工事 40 工事中 34 工事が竣工 (R4.1.17 時点)		
建築工事	駅舎工事	新大村駅	一部の工事を残しほぼ完成 (令和4年3月頃に竣工予定)
		諫早駅	一部の工事を残しほぼ完成 (令和4年3月頃に竣工予定)
		長崎駅	一部の工事を残しほぼ完成 (令和4年3月頃に竣工予定)
軌道工事	レール敷設は、令和3年11月末に、ルート全体で約66km、長崎県内では約49kmの施工が完了し、完成率が100%となった なお、脱線防止ガードの設置は引き続き行われ、令和4年3月頃までに鉄道・運輸機構で全体の4割強(約30km)を、残りは開業後にJR九州で行われる予定		
電気工事	駅構内の電力設備(照明灯)や通信設備などを施工中 (ルート全体の電気工事進捗率は約90%) 新諫早変電所について、令和4年1月から受電が開始された (R4.1.17 時点)		
機械工事	駅舎の可動式ホーム柵について、新大村駅は設置が完了、諫早駅と長崎駅は設置中 また、出改札機については工場製作中で、令和4年度初めに設置の予定		
大村車両基地	基地内の建物の建築工事は、令和3年11月下旬に完成 レール敷設工事と機械工事(塗装設備の設置や設置した機械の試運転調整など)を順次実施中		

※竣工予定時期は、鉄道・運輸機構への聞き取り、またはとりまとめ時点での契約工期の工期末月を示したものであり、今後変更の可能性はある。

※鉄道・運輸機構からの情報をもとに、当室にて整理したものである。

※土木工事の完成については、トンネルは覆工完了、高架橋・橋りょうはスラブコンクリート完了、路盤は施工基面完了をもって、完成と整理されている。

※軌道工事の完成率は、高さなどの最終調整まで完了した率を示している。

※電気工事の完成率は、設備の設置が完了した率を示しているが、最終的には諸試験の合格をもって、工事完了となる。

※前回からの更新箇所を朱書きとしている。

○用地取得実績（長崎県内）（R3.12月末時点）

長崎県全体	東彼杵町	大村市	諫早市	長崎市	全体
取得予定面積 (地上権設定含む)	7.7 ha	33.9 ha	19.0 ha	10.3 ha	70.8 ha
取得済面積 (地上権設定含む)	7.7 ha	33.7 ha	18.9 ha	10.1 ha	70.5 ha
進捗率	100%	99%	99%	98%	99%

※鉄道・運輸機構からの情報をもとに、当室にて整理したものであり、四捨五入により計が合わない場合がある。  
 ※買収予定面積は、用地丈量、設計、協議の進捗に伴い変更を行う。  
 ※前回からの更新箇所を朱書きとしている。

3. 新幹線車両の大村車両基地への輸送

令和4年1月6日から11日にかけて、西九州新幹線で使用される最新の車両(N700S)が大村車両基地へ輸送された。



輸送経路図

本車両は、山口県下松市にある日立製作所笠戸事業所にて製作され、1編成6両が1月6日の午後5時ごろ長崎に向け同事業所を出港した。

その後、関門海峡を7日未明に、平戸大橋の下を同日午後通過し、8日の午前8時半ごろ大村湾への出入口である針尾瀬戸に架かる新西海橋と西海橋の下を通過した。



新西海橋



西海橋

そして、8日の午前長崎県東彼杵郡川棚町にある川棚港に到着し、翌9日の午前9時半から岸壁に陸揚げが行われた。

車両は、2台のクレーンにより陸揚げされ、運搬用の台車に載せられる際は、傾きや降ろす位置に誤りがないか、慎重に慎重に作業が行われていた。



川棚港での陸揚げの様子

陸揚げ後には、記念の式典として、長崎県、長崎新幹線・鉄道利用促進協議会及び川棚町の主催による歓迎セレモニーが開催され、長崎県の中村知事や JR九州の青柳社長らの出席のもと、車両の到着を祝った。



中村知事



記念撮影

陸揚げされた車両は、その後川棚港から長崎県大村市竹松町で建設中の大村車両基地へ、陸上輸送された。

陸上輸送は2日に分けて行われ、1日目は半分の3両が10日の午前0時20分ごろから順次輸送されたが、沿線には多くの人がかけて、なかなかお目にかかれない新幹線の輸送を見守った。

また輸送は、大型トレーラーで車両を運ぶ状態が、道路を一般的に通行できる車両の制限（車両の幅や長さ、総重量など）を超えるため、前後に誘導車を配置し、交差点や道路の幅が狭い箇所などを通過する際に誘導を行うなどの安全対策がとられていた。

基地には午前 3 時半ごろまでに 3 両全て無事到着し、残り 3 両についても翌 11 日に輸送され、6 両すべてが無事車両基地に到着した。



東彼杵町江頭交差点



大村車両基地

今後も引き続き、残り 3 編成の車両搬入が行われるとともに、搬入された車両については基地において組み立てや整備が行われ、本線での試験走行に向けての準備が進められることとなっている。

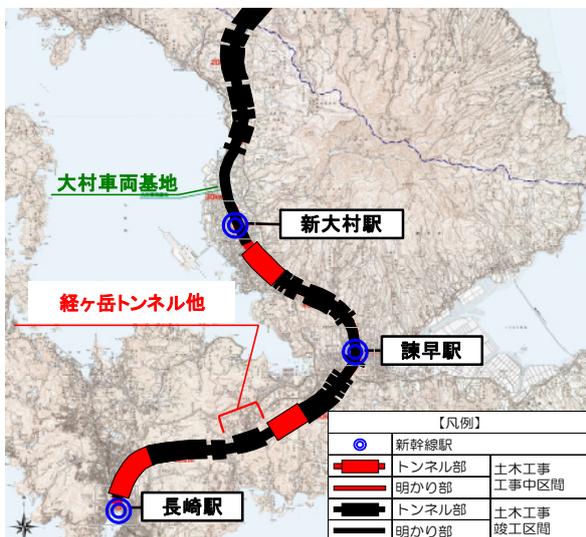
#### 4. 主要土木工事の竣工

長崎市船石町から平間町の間で、平成 27 年 2 月 9 日より進められていた「経ヶ岳トンネル他」工事（受注者：鉄建・りんかい日産・西海興業 JV）が、令和 3 年 12 月 20 日に竣工した。

この工事では、工事長 3,216m 間で、延長 1,930m の経ヶ岳トンネルをはじめ、経ヶ岳トンネル前後に隣接する橋りょう（橋台 3 基、橋脚 23 基、上部工 405m）や高架橋、路盤などの施工が行われた。

その中の、延長 190 メートルの八郎川橋りょうは、橋りょうの下に河川や道路が通っているため、張出架設工法にて架設が行われた。

この工事の竣工により、長崎県内の主要な土木工事 40 工事のうち 34 工事が竣工した。



位置図



完成した経ヶ岳トンネル（武雄温泉側坑口）



完成した八郎川橋りょう



完成した経ヶ岳トンネルと久山トンネルの間

※上の2枚の写真は、「JRTT 鉄道・運輸機構」より提供（令和3年11月～12月撮影）

【張出架設工法による八郎川橋りょうの架設状況写真】



①これからだんだん左右に張り出しています  
（平成30年6月撮影）



②半分ほど張り出してきました  
（平成30年12月撮影）



③写真中央の橋脚からの張り出しは完了し、今度は写真左側の橋脚から張り出しが行われています  
（平成31年4月撮影）



④写真左側の橋脚からの張り出しも完了し、橋げたが繋がりました  
（令和元年10月撮影）